

## 神戸大学(学部入学定員:2, 543人)

取り組み学部・研究科等:国際文化学部(140人, 文学部(115人), 発達科学部(280人), 法学部(180人), 経済学部(270人), 経営学部(260人), 人文学研究科(50人), 経済学研究科(83人)

### 【構想の目的・育成するグローバル人材像】

神戸大学の教育理念「真摯・自由・協同」の精神に基づき、卓越した外国語能力と高度な専門性を持って、地球規模での現代的諸課題に立ち向かい、国際社会の持続可能な発展を可能とする「問題発見型リーダーシップ」を発揮できる「グローバル人材」の育成を目的とする。

### 【構想の概要】

神戸大学では、教育目的に掲げる「人間性の教育」、「創造性の教育」、「国際性の教育」、「専門性の教育」を踏まえつつ、人文科学系及び社会科学系の6学部2研究科がそれぞれの教育プログラムを通じて互いの専門性を越えて協力し、深い教養と高度な専門性、グローバルな視野と卓越したコミュニケーション能力を備えた「問題発見型リーダーシップ」を発揮できる「グローバル人材」を育成する。

## ■ 教育課程の国際通用性の向上

### ○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

全学的な教学マネジメントを行う「大学教育推進機構」の既存組織である「大学教育推進部」と「全学共通教育部」に加え、グローバル教育を推進するため新たに「グローバル教育部」を置き、学士課程教育における国際通用性向上のため次の取組を実施することにより、単位制度の実質化を図り、学生の能動的学修を推進する。

①学生の学修時間の確保、②カリキュラムの体系化、③GPAの活用と成績評価の厳格化、④学生の主体的な学びを促進するための環境整備、⑤アクティブ・ラーニングの推進

### ○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

神戸大学が育成しようとするグローバル人材像及び獲得する能力を明示し、併せて、留学促進のための支援状況等を積極的に公表する。また、海外にキャンパスのグローバル化推進に係る取組を紹介するとともに、海外からの優秀な留学生の受け入れを図るため、外国語による情報発信に努め、「グローバル・ハブ・キャンパス」としてより一層の国際化を推進する。

### ○ 事務体制のグローバル化

事務職員のグローバル化対応能力の向上を図るため、実務能力養成のための語学等研修や国内外における国際職員研修を行い、学生の留学支援及び外国人教員の日本での活動に係る支援を充実し、教育環境のグローバル化を向上させる。

## ■ グローバル人材として求められる能力の育成

### ○ 異文化・日本文化理解力

全学共通教育において、「グローバル共通科目」を設ける。

### ○ 卓越した外国語運用能力

留学準備コースを新設し、アカデミックライティング等の指導を強化する。

### ○ 高度な専門性の涵養とグローバル教育プログラム

専門科目において、「グローバル専門科目」を設け、英語等の外国語での授業を拡大する。



〈アクティブ・ラーニングの一コマ〉

## ■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

### ○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

英語力を重視するAO入試、TOEFLを活用する選抜方式や入学志願者の留学経験や在外経験を評価する方式の導入を目指し検討を開始する。

### ○ 効果的な語学教育及び教育体制

TOEIC等の英語外部試験で語学能力の向上度を評価し、習熟度別クラス編成を行う。外国語による論文作成においては、国際コミュニケーションセンター外国人教員による個別指導を行う。また、専門科目における英語での授業数を増やし、留学を促進する。

## ■ 教員のグローバル教育力の向上

### ○ 教育体制のグローバル化

海外の大学での教育経験や国内大学での外国語による教育経験が豊かな教員並びに外国人教員を積極的に採用・配置することで、英語等による授業の拡充・推進を図る。

### ○ グローバル教育力向上のための取組

「大学教育推進機構グローバル教育部」が中心となり、海外大学から講師を招聘の上FDを開催し、また、教員の充実した海外研修や海外教育経験の場とするため、神戸大学中国事務所(北京)や神戸大学ブリュッセルオフィス(ベルギー)を活用する。

## ■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

### ○ 動機付けや留学を促進するための取組

オープンキャンパス時から留学に関する的確な情報提供、また、ダブルディグリープログラム制度の拡充、国際コミュニケーションセンター外国人教員による留学準備コース(特別英語コース・海外短期英語特別研修)の導入などの取組を行う。

### ○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

「大学教育推進機構グローバル教育部」が中心となり、留学中の学修及び生活状況を常に把握し、また、帰国後においては、メンタルヘルスケア・学修管理支援を適切かつ継続的に行い、学業生活に支障が生じないようにする。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

- ①深い教養と高度な専門性  
地球規模での諸課題の発見やその解決にリーダーシップを発揮できるための基礎的能力
- ②問題発見型先見性  
人々の声なき声を聞き分け、そこに新たな問題や課題が伏在していることを発見し、社会に向かって発信・説得する能力
- ③課題解決能力  
創造的な計画立案力だけでなく、想定外の変化や障害に対して柔軟に対処しつつ事業を完遂する能力、企画・運営能力
- ④リーダーシップを発揮できる能力  
「学生の自主性・自律性を尊重し、個性と多様性を重視した教育」(神戸大学教育憲章)の実践に基づく能力

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満了学生数				120人	141人	177人	193人
うち海外留学未経験者数 (A)				55人	69人	74人	77人
海外留学経験者数 (B)		73人	68人	101人	123人	150人	152人
卒業[予定]者数 (C)		1,311人	1,315人	1,315人	1,315人	1,315人	1,315人
比率 ((A+B)/C)				11.9%	14.6%	17.0%	17.4%
文学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		9人(6)	12人(9)	18人(10)	23人(12)
	海外留学経験者数	1人	2人	6人	9人	10人	12人
	卒業[予定]者数	115人	115人	115人	115人	115人	115人
国際文化学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		35人(5)	40人(10)	45人(10)	50人(10)
	海外留学経験者数	53人	44人	63人	75人	75人	75人
	卒業[予定]者数	147人	140人	140人	140人	140人	140人
発達科学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		15人(10)	18人(12)	25人(15)	30人(15)
	海外留学経験者数	0人	2人	5人	6人	15人	15人
	卒業[予定]者数	290人	290人	290人	290人	290人	290人
法学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760		15人(12)	15人(12)	18人(14)	18人(14)
	海外留学経験者数	3人	4人	3人	3人	4人	4人
	卒業[予定]者数	193人	200人	200人	200人	200人	200人
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760		16人(2)	24人(4)	37人(6)	37人(6)
	海外留学経験者数	11人	11人	14人	20人	31人	31人
	卒業[予定]者数	298人	290人	290人	290人	290人	290人
経営学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEIC760又はTOEFL-iBT80		30人(20)	32人(22)	34人(19)	35人(20)
	海外留学経験者数	5人	5人	10人	10人	15人	15人
	卒業[予定]者数	268人	280人	280人	280人	280人	280人

※1)「外国語カスタンダードを満了学生数」の学部ごとの記入欄の( )内は、外国語カスタンダードを満了学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。